



第84期 第2四半期

株主通信

2018年4月1日～2018年9月30日

株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第84期（2019年3月期）第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から9月30日まで）における当社グループの業績概要と通期の見通しについて、ご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月



代表取締役会長兼社長

会田 仁一

当第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間における世界経済については、先進国、新興国ともに景気拡大局面が続き、国内経済も、個人消費や企業業績が堅調で緩やかに回復している状況ですが、主要国における景気減速懸念、貿易摩擦、金融環境の引き締め、地政学的緊張等、世界経済の成長に対する下振れリスクが高まっている状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内、海外ともに受注が増加し、当第2四半期連結累計期間の受注は前年同期比26.6%増の978億8千7百万円

（一般社団法人日本鍛圧機械工業会プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は、自動車関連向けプレス機械の堅調な受注と日本リライアンス株式会社の新規連結効果により、440億8千1百万円（前年同期比0.3%増）となり、受注残高は630億9千万円（前年度末比6.4%増）となりました。

売上高は、米州以外での自動車関連向けプレス機械売上の増加や日本リライアンス株式会社等の新規連結効果等により、403億1千1百万円（前年

株主の皆さまへ

同期比23.1%増)となりました。

利益面については、増収効果はあったものの、原材料や外注コストの増加や一部の特殊仕様に対する追加工事の発生に加え、粗利率の高い案件の売上計上が下期にずれ込んだことも影響し、営業利益が23億3千4百万円(同18.9%減)となりました。同様の影響で経常利益は26億5千1百万円(同6.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億3千5百万円(同11.0%減)となりました。

通期業績の見通しについて

売上高については、昨年度来の受注増加と日本リライアンス株式会社の連結効果等により増収を見込んでおり、当初の通期予想に変更はありませんが、利益面では、前述の通り、原材料や外注コストの上昇が当初想定を超えたこと、当初見込んでいなかった追加工事が発生するという特殊要因もあったことから、営業利益と経常利益の予想を下方修正いたしました。

しかしながら、下期については上記の特殊要因がなくなるとともに、上期からずれ込んだ粗利率の高い案件の売上が計上されることから、収益は

上期対比で大幅に改善し、通年では、前年度対比で営業利益は横ばい、経常利益は増益を見込んでおります。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益については当初通期予想に変更はございません。

株主の皆さまへの還元方針について

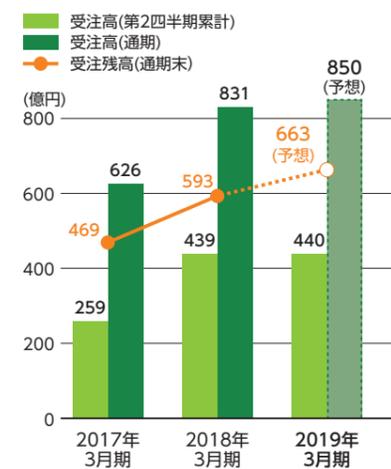
当社は、株主の皆さまの利益向上を経営上の重要課題の一つとして認識し、経営基盤の強化、企業品質の向上及びグローバルな事業展開により、企業価値の向上と1株当たり利益の継続的な増加に努めております。

利益処分につきましては、経営基盤の安定性確保と将来の成長投資のための内部留保維持を考慮しつつ、連結配当性向30%以上を目指し、安定配当を継続することを基本方針としております。

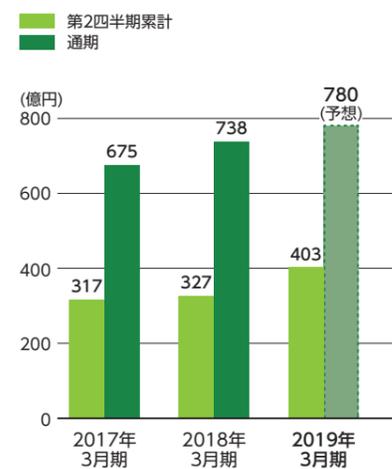
当社の配当は、定時株主総会の決議によって決定し、期末配当として年1回お支払いすることとしております。当期末配当金は、現在のところ期初予想通り1株につき普通配当30円(連結配当性向37.8%)を維持する考えです。

連結財務ハイライト

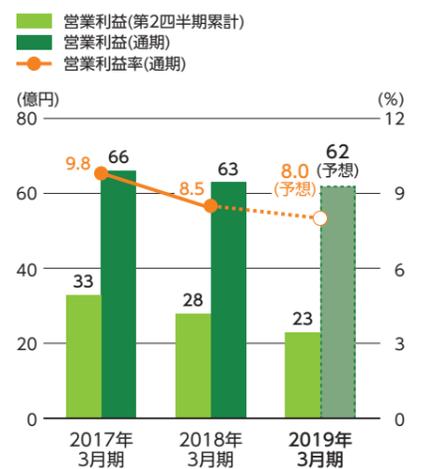
受注高/受注残高



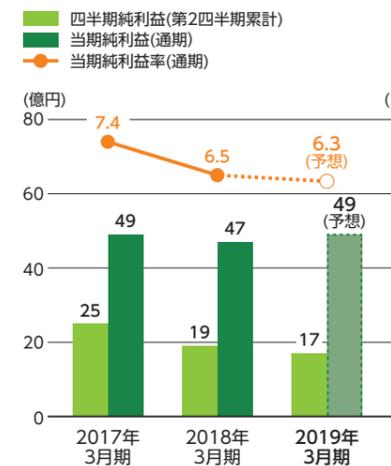
売上高



営業利益/営業利益率



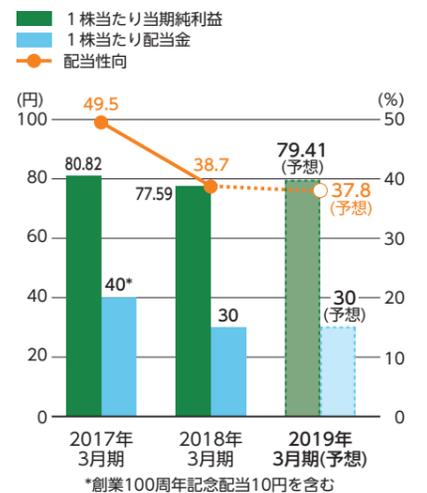
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益/当期純利益率



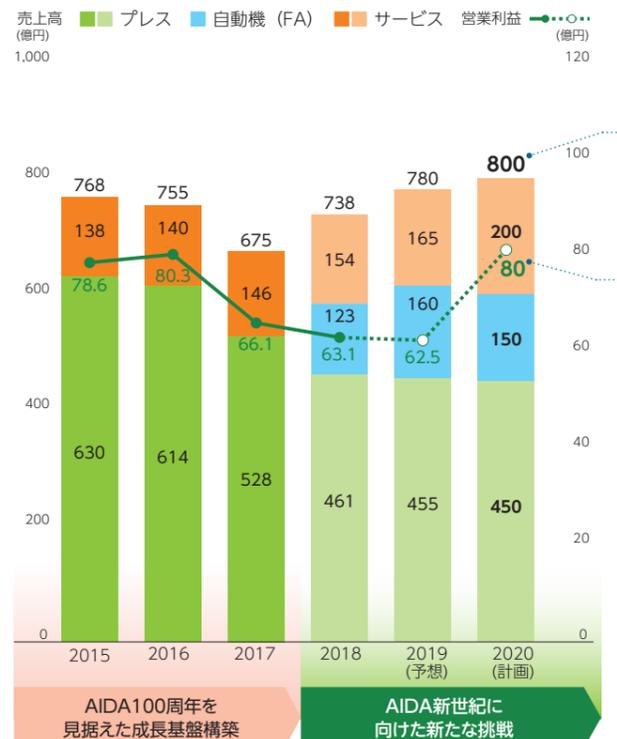
総資産/純資産/自己資本比率



1株当たり当期純利益/1株当たり配当金/配当性向



中期経営計画の概要 2018年3月期~2020年3月期



ビジョン ▶ 環境・省エネ・技術を支えるグローバル先進企業として深化する。

業績目標 ▶ "AIDAプラン523"

2020年3月期
 ・売上高 **800億円** 安定成長を基本路線とし、過去最高を目指す。
 ・営業利益 **80億円** 安定的に10%以上の営業利益率を目指す。

長期的目標
 売上高 **1,000億円**
 売上比率 ▶ プレス 5 自動機 (FA) 2 サービス 3

"AIDAプラン523"

重点施策 ▶		
市場・顧客開拓	商品競争力向上	重点事業強化
グローバル業務体制高度化	人財育成・開発	成長基盤構築

トピックス Topics

中期経営計画：重点施策「重点事業強化」に向けた取組み

・名古屋サービス工場完成

昨年秋に着工した名古屋サービス工場の建て替え工事が2018年9月に完了いたしました。この工場では50トン大型クレーンを設置し、従来のサービス拠点では取扱うことができなかった、近代化工事やオーバーホールに対応してまいります。また、近代的な自動倉庫も導入し、サービスパーツの品揃えを拡充するとともに迅速な供給を実現します。この工場の完成により、お客さまの近くで従来以上に高度なアフターケアを提供することができるようになりました。

今後もサービス事業強化に向けサービス工場の機能拡充を進めてまいります。



延床面積は旧工場の2.3倍に拡張 50トン大型クレーン/ウォールクレーン コンピュータ制御による自動倉庫

■ 会社概要

商号 アイダエンジニアリング株式会社
 創業 1917年(大正6年)3月
 設立 1937年(昭和12年)3月
 資本金 78億31百万円
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部
 証券コード 6118
 従業員数 2,247名(連結)760名(単体)

■ 役員

取締役

代表取締役会長兼社長 会田 仁一
 取締役 中西 直義
 取締役 鈴木 利彦
 取締役 ヤップ テック メン
 取締役 川上 正泰
 取締役(社外) 大磯 公男
 取締役(社外) 五味 廣文

監査役

常勤監査役(社外) 松本 誠郎
 監査役(社外) 金井 洋
 監査役(社外) 巻之内 茂

■ ホームページのご案内



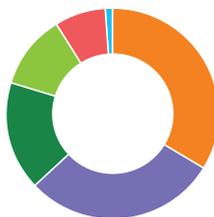
当社ホームページでは、企業情報をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。

<http://www.aida.co.jp>

■ 株式の状況

発行可能株式総数 188,149,000株
 発行済株式総数 73,647,321株(うち自己株式8,476,987株)
 株主数 7,309名

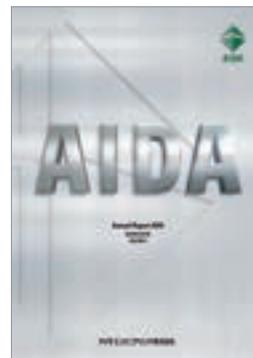
所有者別株式分布状況



金融機関 …… 33.67%
 外国法人等 …… 29.41%
 個人・その他 …… 16.73%
 自己株式 …… 11.51%
 国内法人 …… 7.81%
 金融商品取引業者 …… 0.86%

■ アニュアルレポート2018のご案内

当社では、ステークホルダーの皆さまに当社の事業概況について分かりやすくお伝えするため、経営・財務情報、環境への取組み等を報告する「アニュアルレポート(兼会社案内)」を発行しております。
 成形システムビルダとして発展し、人と社会に貢献するという企業理念を実現するための当社の取組みをご覧ください。



http://www.aida.co.jp/ir/aida_AR18J_final.pdf

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 剰余金の配当基準日 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 株式に関するお問合せ先

証券会社に口座をお持ちの場合

お取引の証券会社にご連絡ください。

証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

みずほ信託銀行 証券代行部
 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

株式に関する手続き(住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会および届出につきましては、上記をご参照ください。
 ただし、未払配当金のお支払いにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部(フリーダイヤル:0120-288-324)へお問合せください。

■ 公告方法 電子公告

<http://www.aida.co.jp/ir/koukoku/index.html>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。